



—東地中海地域ニュース—

エジプト：ムバーラク大統領と温家宝中国首相との会談

(11月8日付現地各紙)

8日付現地各紙は、7日に実施されたムバーラク大統領と温家宝中国首相の会談について報じている。

1. 概要

11月7日、ムバーラク大統領は、第4回中国・アフリカ協力フォーラムに出席のためにエジプトを訪問中の温家宝中国首相と会談した。会談では、中東和平問題を中心とした両国共通の関心事項である地域及び国際問題、中国・アフリカ協力フォーラムで提示される議題について協議した他、二国間関係とその強化の方法についても議論された。会談には、エジプト側よりアブルゲイト外相とモヘッディーン投資相が同席した。

また、ムバーラク大統領は、温家宝首相及び中国代表団の歓迎昼食会も開催し、エジプト側よりタンターウィ国防・軍需生産相、アブルゲイト外相、モヘッディーン投資相、オスマーン経済開発担当国務相が同席した。

2. アブルゲイト外相の発言

(1) エジプト・中国関係

ムバーラク大統領と温家宝首相の会談は約2時間半にわたり、相互理解にもとづく良好な二国間関係及び今後の発展について話し合った。

会談では、特にエジプトでの開発計画支援などについて協議され、北西スエズ湾での両国による協力および各プロジェクトの準備について集中的に議論された。

温家宝首相は、ムバーラク大統領の中国訪問を招請した。これに対し、ムバーラク大統領は、今後、具体的な訪中日程が決められることを条件に招待を承諾した。

(2) 地域問題

ムバーラク大統領は、パレスチナ問題、特にパレスチナ独立国家設立の必要性を説明した他、イエメン、イラク、レバノン、アフガニスタン等の最近の地域情勢におけるエジプトの見解を提示した。

また、ムバーラク大統領は、地域の安定をもたらすためにも、当該問題解決のための国際的努力を成功させることの必要性を強調し、問題解決は、イランが核を軍事的に利用することへの疑いを払拭し、イランに核エネルギーの平和的利用の権利を認めることにもなると指摘した。また、大統領は、イスラエルのNPT加入及び中東非核地域設置の必要性を繰り返した。